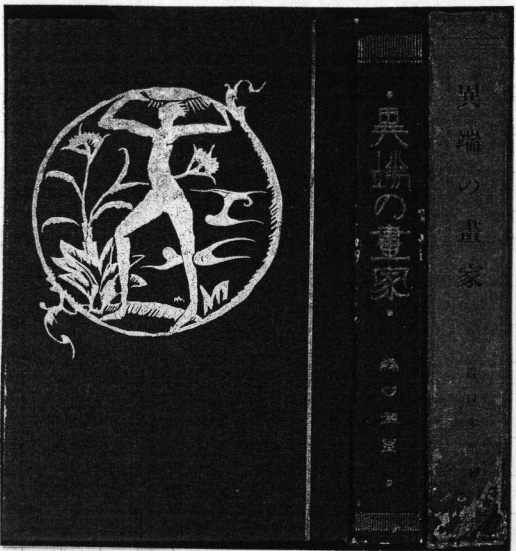


森口多里 タリ 美術評論家。明治二十五年七月八日岩手縣生肌、昭和五十九年五月五日歿（八二—一九六四）。本名多利。筆名杜口 タリ、森口柳歌。大正二年早稻田大學文藝部英文科卒。十年同人講師、十二年フランク人留學。戰後岩手縣の美術工藝高等學校校長。昭和二十六年盛岡短期大學教授、三十二年岩手大學教授。

- 著譯書 『類別新美術集』（編、大正八年八月十日實業之日本社）、『異端の畫家』（大正九年八月十日日本美術學院）、ロマン・ローラン著 『ミレー』の生活及び藝術（譯、大正十年六月十五日弘文館）、『ゴッットの文化と建築』（編、大正十年七月二十日洪洋社）『建築文化叢書』（『美術の心』（大正十一年六月十日自費分店）、『近代美術』講（大正十一年九月二十日東京堂書店）、『ロマンの文化と建築』（昭和二年十二月十日洪洋社）『建築文化叢書』（『モネ』（昭和十四年七月二十日ヤトリ社）『西洋美術文庫』（『エドワード彫刻』（昭和十五年五月二十日ヤトリ社）『西洋美術文庫』（『學生と藝術』（公署・河合榮治郎編、昭和十五年十一月二十日日本評論社）、『近代美術』（昭和十五年十二月五日東京堂）、『異端の文化』（昭和十七年十月二十日東京堂）、『續』



ツク彫刻』(昭和十八年十一月十五日アトリエ社)、『民俗と藝術』  
(昭和十七年二月) 千白(白書房)、『黄金の馬』(昭和十七年五月  
二十日) 千白(三國書房)、『學徒宣言』(合著・白井喜文介編、昭和十八年  
一月) 千白(京都・白井書房)、『町の民俗』(昭和十九年八月十五日  
三國書房「女性叢書」)、『モモ』(昭和二十四年十月一日) ヲルメ  
「アルメ美術文庫」、『東北文化史講演集』(合著、昭和二十四年  
十一月) 千白(岩手・中尊寺國寶保存後援會)、『美術入門』(昭和二十  
五年六月) 千白(東峰書房)等。